

河曲地区地域づくり協議会

広報 かわの

令和4年9月20日 第10号

百々川橋北詰周辺 改修進む

- ⇒ 交差点 右折レーンを新設
- ⇒ 歩道 北詰交差点まで全通
- ⇒ 踏切 歩行者専用の遮断機

改修工事・着工説明会 6月23日

県道8号線で懸案となっている百々川橋北詰交差点での車両渋滞、その北詰交差点に西から至る歩道の途切れ、さらに近鉄第5号踏切附近の県道の狭さ、の3課題を一举に解消するため、見出しの通りの県営改修工事が始まっています。

6月23日、工事を主管する三重県鈴鹿建設事務所による説明会での工事内容は次のとおりです。

- 1) 北詰周辺の渋滞解消のため右折レーンを新設。より効率化のため交差点を直交させる。そのため西から来る場合、踏切を渡り、やや左にカーブしながら交差点に直入する。右折の場合は新設レーンへ。
- 2) 河田交差点から百々川橋北詰交差点まで、歩行者専用踏切を新設のうえ、全2m幅歩道を

全通させる。改修歩道長およそ150m。

- 3) 歩行者専用歩道の敷設に伴い、専用踏切を設置。これにより現場では車道用4基、歩道用2基、計6基の遮断機が作動する。
- 4) この一連の改修工事で近鉄サイドには従来より4mほど保線責任費用負担が増える。これを相殺するため、野辺の幅4mの第8号踏切道を9月に廃止する。

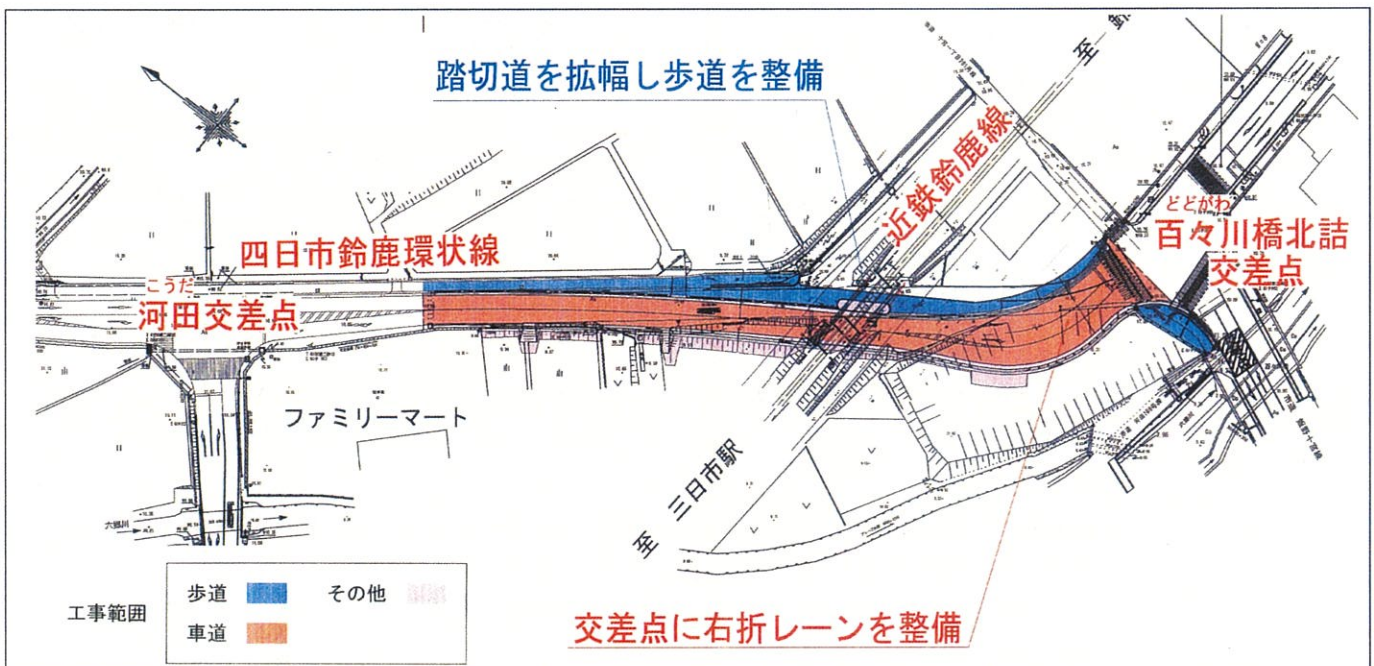
(説明を担当された鈴鹿建設事務所の稲田知晃主査によれば、そもそも今回、改修工事が着工出来たのは、この地元の御了解があったからこそ、だそうです。)

- 5) 施工 道路工事は地元の佐野組さんが、踏切関連工事は近鉄工事部局さんが担当。

工期 令和5年5月に完了予定。

工費 県の当該年度予算措置によるため、年次を跨ぐものは別途、ということで、今年度予算計上額は1億6366万7000円。

次頁に現場の改修前の写真を掲載しておきます。改修後の渋滞解消が楽しみです。



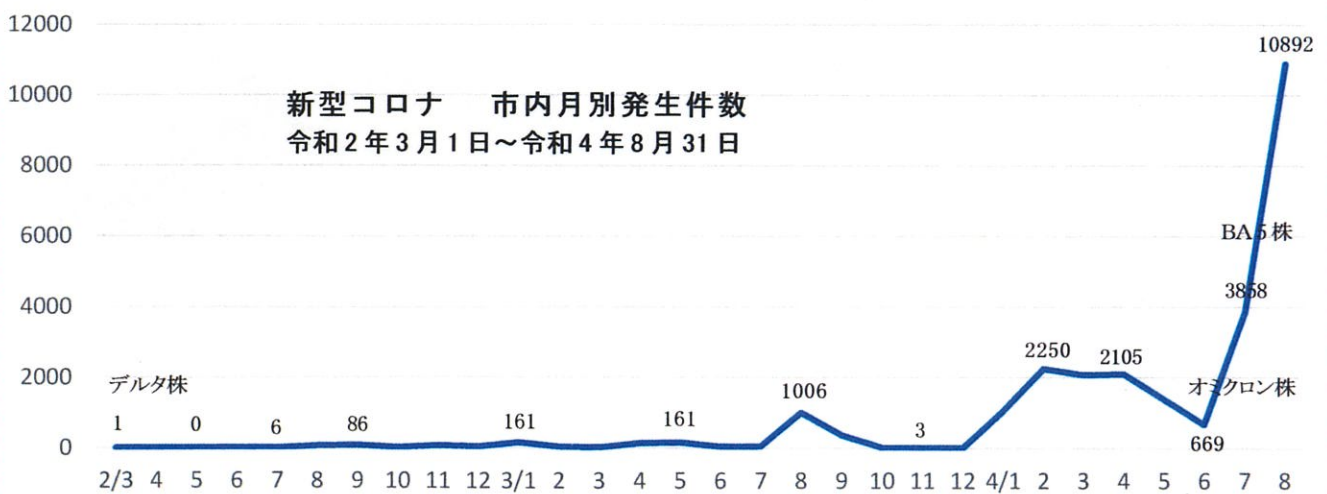


河田から東進して交差点へ、右折レーンがなくて渋滞、手前は私有地、撮影8月19日13時15分



近鉄5号踏切、踏切に歩道なし、路側帯なし、すれ違いに難渋、手前は歩道柵、撮影8月19日10時25分

新型コロナ 市内月別発生件数 令和2年3月1日～令和4年8月31日



二 科 展

河曲フォト講座から4人入選

美術写真分野で国内屈指の公募展である二科展に、河曲の公民館活動のひとつ「公民館フォト講座」の受講生4氏が同時入選されました。竹内静恵さん、浅野博美さん、遠藤義光さん、加藤清史さんの4氏です。受講生15名のうち4名も入選を果たすなど、県内でも指折りのフォト講座と言われているのに納得です。

* * * * *

二科会は大正3年に、伝統を重んじる文部省展覧会（文展）から分派して、新しい美術の確立を標榜して生れた団体です。その大きな流れのなか、昭和28年に二科会東郷青児会長の発議で写真部が創設されました。創立時会員は林忠彦、早田雄二、秋山庄太郎、大竹省二の四氏でした。

じつは日本の美術界では日展が最高のひのき舞台のひとつであり、日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書の5部門が設けられています。しかし写真部門は開設されていません。二科会が主催する二科展が写真界での権威ある舞台と評されているのは、こうした背景があります。

* * * * *

河曲のフォト講座は指導者にめぐまれて今日の隆盛を迎えています。受講歴20年の遠藤さんによれば、はじめは初代講師の戸田英義さんに、次いで渡辺充正さんに、そして現在は坂尾富司さんに指導をうけてきているそうです。

というのも二科会には「会員・会友」制度があります。公募に応え、幾度か（普通10回ほど）入選入賞を果たした方に、まず「会友」の名誉があたえられます。ついでその中からさらに精励して実績を積まれた方が、会員諸氏の推挙により晴れて「会員」として認められます。

この「会員」に令和4年現在、須賀町在住の戸田英義さん、岸田町在住の坂尾富司さんが全国の「会員」314名の一人として活躍され、日本の写真芸術の先導役を務めてみえるのです。

* * * * *

芸術の秋、みなさんはどの方面に関心をお持ちでしょうか。

令和4年10月29日開催（雨天30日）

国分寺まつり with Covid-19

史蹟指定100周年記念
鈴鹿市制 80周年記念

国分寺記念祭、コンパクトに、格調高く

8月8日に開催された国分寺まつり実行委員会で、10月29日午前10時開始、コロナ等防疫体制には万全を期す、雨天時は30日に順延、として祭典4分野の催行内容が固まりました。

①天平衣装行列 史蹟指定100周年、市制80周年の記念の年を寿ぎ、精緻な資料を踏まえ博物館展示用に制作した天平の国司や貴族の衣装を60人程が着用、20分かけて歴史公園内を練り歩く。

②舞台発表 竹野の獅子舞、木田の虫送り、小中校ブラスバンド演奏、箏曲、雅楽演奏、詩歌朗詠、そこでゆっくりとした時間の流れを醸す。近くで信綱かるたを販売。

③体験コーナー まがたま、しめなわ、かわらなどの自作、火おこし、自然観察、地震体験などに挑戦、似顔絵コーナーも特設。

④屋台村 キッチンカーで飲食物を販売、物産販売では五平餅も。賑やかな味の空間を作る。

地域防災計画作成 避難所の運営

7月27日、地域防災計画作成のため、地域づくり協議会の全体会議が開かれました。今回は共助を念頭に、避難所の運営をどのように始めるか、を話し合いました。

避難所運営マニュアルに依る避難所運営の流れは、おおよそ下記のとおりです。

- ①開設委員会の設置、委員の選任
- ②世帯別避難者名簿の作成
- ③施設内に本部、受付、通路、掲示板など拠点スペースの確保
- ④避難者スペースの区画割（町別、組別ほか）
- ⑤最後に避難者を受け入れ

* * * * *

この流れを心得たうえで入所すると、前後の動きが判っていて、避難者は混乱なく進めます。長期戦になっても、立ち上がりが重要です。



ラジオ体操 恒例のビンゴも

7月30日(土) 第1回 参加者348名 快晴

8月6日(土) 大雨警報発令で早朝に中止決定、翌日に順延とする

8月7日(日) 第2回 参加者230名 晴天
両日ともラジオ体操のあと、恒例のビンゴゲームがあり、メロンや水羊羹など盛り沢山の景品にみなさん沸いてました(7月30日撮影)。

体育館移設 登記余聞

小学校体育館の移設では教育委員会にお世話になっています。今回、周辺の土地権利関係の確認に携わった教育政策課の高山剛GLから面白いお話を伺いました。以下、以前に河曲小学校校庭内にあった忠魂碑の底地にかかわるお話です。

地目は「忠魂碑」

昭和8年5月13日、河曲村が大字河田字太等寺(たいとうじ)382-2番を買収しました。そこは以前から河田の村役4人が連名所有する民地で、昭和2年11月から「昭忠碑」が建っていました。

今回、二階建て青年学校校舎の建設用地として周辺全域が必要になったため、買収を機に未登記の物件もすべて村有地として整備されました。その結果、1畝3歩382-2番の民地は地目「忠魂碑」の村有地として登記完了となったそうです。地目といえば宅地、雑種地、農地、蕪荒地など見聞しますが「忠魂碑」とはビックリです。

字名も太等寺、大等寺、大道寺、と三通りもありましたが、太等寺に落ち着きました。

地域づくり協議会恒例 草刈り



恒例の草刈り 5月21日には47名、7月23日には46名の皆さんにお世話になりました。お忙しい中、ご協力いただき有り難うございました。



公民館前の花壇 国分町にお住まいの山本修さんから寄贈されたポーチュラカの苗30株。秋には美しく咲きそろうことでしょう。

河曲地区地域づくり協議会広報紙

『広報かわの』第10号 令和4年9月20日 発行

発行責任者 河曲地区地域づくり協議会 事務局長

事務局 河曲公民館内「地域部屋」 電059-390-1295